

# 八東川清流クラブ 会報 No.019

## 今年の千代川フェスティバル会場が八東総合運動公園及び金崎水辺公園に！

2月25日に開催された第24回千代川流域圏会議にて、今年の千代川フェスティバル(8月22日(土)開催)が、メイン会場を八東総合運動公園、サブ会場を金崎水辺公園(親水イベント会場)として決定されました。

千代川フェスティバルの誘致は、私達、清流クラブもここ数年検討してきた懸案事項であり、大変喜ばしいことです。

これから以降は国交省の千代川フェスティバル担当部門が中心となり、八頭町を含めた実行委員会により、具体化に向けた検討・推進が行われていきます。

なお、決定会議において、メイン会場とサブ会場の距離が長いことが課題としてあげられましたが、これが実現する運びになったのも八頭町及び千代川流域圏会議事務局関係者様のご理解・協力によるものと思っています。

この距離のハンディを乗り越えて、ここでやって良かったと思われるように、実施方法の検討及びフェスティバル中含め、私達も可能な限りのボランティア協力をしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。(理事長 中村 顕)



サブ会場に予定されている金崎水辺公園

## 例会模様(第58回・H21.02.28)

第58回例会(H21.02.28、9名出席)の様子は、以下のとおりです。

- ・パナソニックボランティア活動支援資金で購入したプロジェクター並びにスクリーンの披露がありました。
- ・2月5日に2008年度「ろうきんNPO寄付システム」へ応募しました。
- ・H21年度事業計画(案)の検討  
各グループ毎に事業計画の概要を説明・支出見込み額の概算を確認しました。  
千代川フェスティバルが8月22日(土)に八東総合運動公園をメイン会場に開催決定した旨の報告がありました。
- ・H20年度事業報告・実績のまとめ  
部外講師による会員研修は今年度は実施を見送ることとなりました。  
会計の年度締めが急がれるので、3月10日までに支出額並びに確定額を会計担当へ報告することとなりました。  
(費用請求書兼受領書の様式を作成し、事前に周知することとなりました)
- ・NPO報告対象事業を確認しました。
- ・パナソニック支援金の支出目的再確認と担当検討  
草刈刃の購入(川のクリーン化Gr)、水質測定キットの購入(学習・教育Gr)、川遊び関係の道具類の購入(親水イベントGr)
- ・会員勧誘について  
活動の幅と内容充実を進めるためには、会員増が必要なため、なるべく早く各自1名の勧誘に努めることとなりました。

## 八東川よもやま話・その6

八東川には、若桜の大石垣、東村の勘右衛門土手、日下部堤防の三大堤防と言われるものがあります。元禄から享保に掛けて40年間に八東川は十数回の大洪水にみまわれ、その都度田畑に被害をもたらしてきました。

因伯の百姓5万人による元文一揆の指導者、東村・松田勘右衛門は度重なる洪水の被害に苦しめられる農民の姿を見て、藩に願ひ出たがなかなか許されないの、私財を投げ打って農民を指揮し3年を費やして金崎から下流に全長620<sup>町</sup>、幅20<sup>町</sup>を越える部分もある巨石による「勘右衛門土手」を1738年に完成させました。

そのお陰で地域を洪水の被害から永く守ってきました。

見事な大自然の巨石を使った構造や、一名「藤土手」とも言われるように石積みを見事なために藤がずらを植え地盤強化を図ったり、また飢饉に備えてニラを植えるなどの工夫が見られ、勘右衛門の技術者としての力量も見ることが出来ます。

(出展：①八東町誌 八東町発行、②八東町45年史 八東町発行、③まんが「八東昔話」八東町発行 より)

## 今後の活動計画

- ・3月30日(月)(例会、理事会)：H20年度活動実績の確認  
H21年度事業計画書・収支予算書の作成
- ・4月26日(日)：八東川クリーン作戦
- ・4月：例会、理事会 --- (前半：例会、後半：理事会)
- ・5月：例会、総会

### 【次回の例会】

- ・日時：3月30日(月) 19:00～
- ・場所：八東公民館 2Fグループ室
- ・議題等

- ①事業計画最終検討
- ②活動全体収支決算検討
- ③中国ろうきん助成金取組み報告
- ④その他(補助金申請と用途検討、  
新任理事選出検討等)

【欠席の方は事前に事務局まで連絡願ひします。】